

## 内科研修方略・評価

### 総合内科

#### 【研修目標】

#### 科ごとの到達目標 GIO

将来の専門分野に関わらず、すべての医師に必要とされる基本的な臨床能力や診療態度を身につけるために、医療面接・身体診察・プロブレムリストを中心とした専門分野によらない総合的な外来・入院診療を実践し、多職種間コミュニケーションや臨床倫理的問題など幅広い視点を持つことの重要性を体感する。

#### 行動目標 SB0s

- 1) 医療面接を行い、正確な病歴や解釈モデルを聴取できる。(知識・技能)
- 2) 他の医療機関から必要な過去の情報を収集できる。(技能)
- 3) 的をもって全身の身体診察が適切に行える。(知識・技能)
- 4) スクリーニング検査の結果を漏れなく解釈できる。(知識)
- 5) 基礎資料から問題点を漏れなく整理し、プロブレムリストを立てることができる。(知識)
- 6) 一般的な症状・所見・検査異常へのアプローチと臨床推論の考え方を理解する。(知識)
- 7) プロブレムリストをもとに適切なアセスメント・カルテ記載ができる。(技能)
- 8) 診療に責任を持ち、ディスカッションを通じて方針決定に主体的に参加できる。(態度)
- 9) 場面に応じた症例プレゼンテーションができる。(技能)
- 10) 臨床状況に応じて適切なコンサルテーションができる。(技能・態度)
- 11) 基本的処置（採血、穿刺検査など）や検査（エコー、Gram染色など）が行える。(技能)
- 12) 感染症診療の基本・抗菌薬の適正使用について理解する。(知識)
- 13) 高齢患者の総合的機能評価について理解し実践できる。(知識・技能)
- 14) 临床上の疑問についての適切に文献を検索し利用できる。(技能)
- 15) 患者・家族の心理に配慮した病状説明・療養相談が行える。(技能)
- 16) 他科医師やコメディカルスタッフと十分かつ円滑にコミュニケーションがとれる。(態度)
- 17) 臨床現場で遭遇する倫理的問題に気づき、適切に悩み、対峙できる。(態度)
- 18) 自らの診療内容や振る舞いについて適切に振り返りができる。(態度)
- 19) 経験の共有や教育に興味を持ち、後輩・学生の指導に積極的に取り組む。(態度)

#### 【研修方略】

#### 研修期間

内科の必修期間において総合内科・血液・膠原病・老年内科と合同で4週間。  
選択研修期間において単独・もしくはユニットで2-8週間。

総合内科の研修では、なるべく見学や講義といった受動的な内容は避け、診療チームの一員として患者を担当し、研修医の立場で貢献できる内容について役割と責任をもって診療に臨んでいただきたいと思います。

### 研修内容

- 1) 研修開始時に重点目標を設定し、中間、修了時に振り返りを行う。
- 2) 入院患者を指導医と共に担当し、基礎資料収集（病歴・身体所見・検査所見・過去の資料）を行い、プロブレムリストを作成する。プロブレムリストごとの検討・評価を行う。
- 3) 担当患者の病棟回診（単独・チーム）を行い、カルテ記載を行う。自信のない所見等は指導医と共に確認し、フィードバックを受ける。
- 4) 検査・処方・注射の入力、処置等の指示出し、他科コンサルテーションを行う。
- 5) 毎日、朝夕のカンファレンスにて担当患者のプレゼンテーションを行い、検査・治療方針について指導医と検討する。
- 6) 総合内科では定期に行われる特殊検査はないため、担当患者で必要な手技や検査を指導医と共に施行する。その他の手技はある程度貪欲に機会を求め、見学・施行するよう努める。
- 7) 担当患者のことを誰よりもよく把握するように日々の経過を確認する。特殊検査及び他科受には可能な限り同行する。
- 8) 得た病歴、身体所見、検査所見は必ずその日のうちに評価を行い、次のプランを検討する。
- 9) 病棟からの報告に対応する。対応に迷う場合・緊急時にはすみやかに指導医に相談する。
- 10) 担当患者について多職種カンファレンスの機会があれば積極的に参加し議論する。
- 11) 倫理的な問題についても取り上げ、臨床倫理の4大原則や4分割法を利用して検討する。
- 12) 高齢患者では疾患の診断治療のみではなく、総合的機能評価（CGA）を行う。
- 13) 感染症診療の原則に従った診断・抗菌薬治療を学び、Gram染色を習得する。
- 14) 担当患者の病状説明に同席し、説明の一部を担当する。振り返りを行う。
- 15) 外来診療の研修にも可能であれば参加する。外来予診・内科午後診察を一部担当し、指導やフィードバックを受ける。
- 16) 担当患者に関連する事項・臨床上の疑問について信頼できる資料を参照し（UpToDate®や、各領域の成書、必要に応じて各種ジャーナル等）、共有のための勉強会を担当する。
- 17) ER当直業務はそちらを優先する。当直明けは担当患者の引継ぎを行い帰宅する。
- 18) ローテートの修了時に学びや経験の共有のためのプレゼンテーションを行う。

### 週間スケジュール

- ・朝夕に指導医とプレゼンテーション、振り返り、フィードバックの時間を定期的にとること
  - ・担当患者の回診を指導医とともに行うこと
- 以外は病棟・外来で比較的自由に研修・自己学習できるのではと思います。

その他、今後順次ニーズに合わせて検討・変更する予定です。

【研修評価】

日々のカンファレンス・回診におけるフィードバックにより継続的に形成的評価を行う。

SB0s	領域	目的	方法	測定者	時期
1	知識・技能	形成的	観察記録	指導医	ローテ中随時
2	技能	形成的	観察記録	指導医	カンファレンス時
3	知識・技能	形成的	観察記録	指導医	回診・カンファ時
4	知識	形成的	観察記録	指導医	ローテ中随時
5	知識	形成的	観察記録	指導医	ローテ中随時
6	知識	形成的	観察記録	指導医	ローテ中随時
7	技能	形成的	観察記録	指導医	カンファレンス時
8	態度	形成的	観察記録	指導医・コメディカル	カンファレンス時
9	技能	形成的	チェックリスト	指導医・コメディカル	カンファレンス時
10	技能・態度	形成的	チェックリスト	指導医	カンファレンス時
11	技能	形成的	実技試験	指導医・コメディカル	ローテ中随時
12	知識	形成的	観察記録	指導医・薬剤師	ローテ中随時
13	知識・技能	形成的	観察記録	指導医・看護師	ローテ中随時
14	技能	形成的	観察記録	指導医	ローテ中随時
15	技能	形成的	観察記録	指導医・コメディカル	ローテート中
16	態度	形成的	観察記録	指導医・コメディカル	ローテ中随時
17	態度	形成的	観察記録	指導医・コメディカル	ローテ中随時
18	態度	形成的	観察記録	指導医・コメディカル	中間・終了時
19	態度	形成的	観察記録	指導医	ローテ中随時